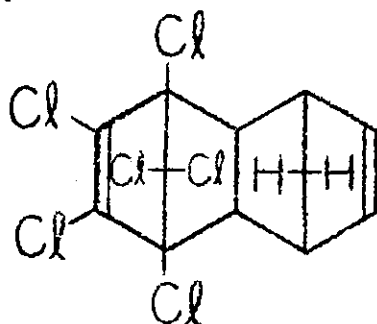


分 解 度 試 験 報 告 書

1. 試 料 名 アルドリン
 (試料 No K-638)

分 子 式 $C_{12}H_8Cl_6$

構 造 式



同 定 赤外分光光度計 (付図-4 参照)

性 状 外 観 淡黄褐色結晶

融 点 104 ~ 104.5 °C

純 度 85 % (試薬一級使用)

溶解性 対水—10 ppm 以下

対クロロホルム, ベンゼンに 1,000 ppm

以上可溶

2. 試 験 期 間 昭和55年7月23日 ~ 昭和55年9月3日

3. 試 験 方 法 及 び 条 件

環保業第 5 号 }
薬 発 第 615 号 } 微生物等による化学物質の分解度試験による
49 基局第 392 号 }

3.1 試験条件

(a) 生分解試験条件

- (1) 微生物源 : 標準活性汚泥 30 ppm
- (2) 供試物質濃度 : 100 ppm
- (3) 試験装置 : 17日間

(b) 試験装置

閉鎖系酸素消費量測定装置 標準型

(c) 試料の採取

供試物質は固体のため、天秤で30.0 mg 精秤し、各培養瓶に添加した。

(d) BOD測定装置へのセット状況

	状 況	pH
仕込時	試料は溶けずに底に沈んだ	—
途 中	同 上	—
終了時	同 上	—

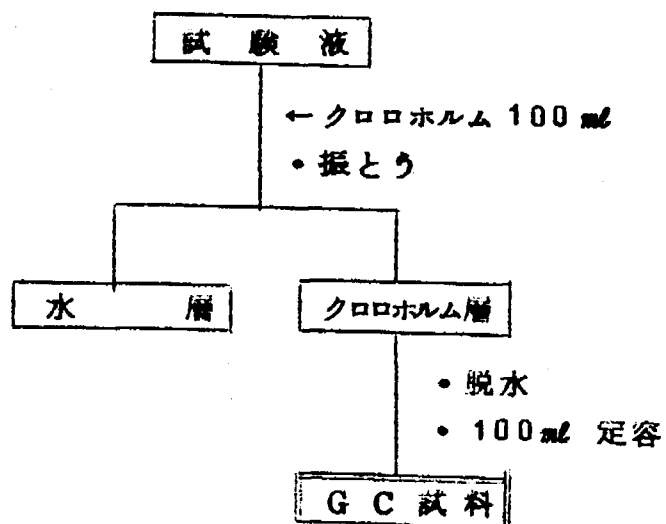
3.2 直接定量分析

(a) 使用分析機器及び条件

ガスクロマトグラフ

型 式	日立 163
検 出 器	F I D
カ ラ ム	3 mm ϕ \times 1 m ステンレス
固 定 相	
液 相	10% SE-30
担 体	クロモソルブW
カラム温度	220 $^{\circ}$ C
キャリアガス	N ₂

(b) 分析試料の前処理



4. 試験結果

	分解度(%)	付 函	付 表
酸素消費量による結果	0	1	
G C による結果	3	2	1

7 日目のアニリンの分解度 64 %

5. 備 考

試験終了後の試料液について、抽出、濃縮操作後、ガスクロマトグラフ法により分析した結果、デイルドリンは検出されなかった。(検出限界 0.6 ppm)

よつて本生分解条件においては、微生物によるアルドリンのエポキシ化反応は生じていないと考えられる。

以 上